雀い十

湖た両

1 柏敗中

陵力日

山士

のが、 七

人七に日 七目

な目

つ

3

ŧ

۲

日

I を 開

を催

て日

風目

神ま

5で. . 丸

終

え 五



朱雀湖〇(押し倒し)●剣 将

らにのすね撲なのがいま ŧ な留前が、 ŧ と取 うか さめの る1朱親 っ 様勝雀方 て 子の湖も欲左 もた自 苦し差 さめ身言いし らにはをけの さ気目呈ど相

3 逆根て

し雲錦部日

たの風屋目

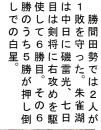
4 部の

根

を

戦岩と

と青





朱雀湖〇(押し出し)●磯雷光

て行勝先

あもきち行七

残た越と日

留いしな目

まっは

うはがれ

で持何て

なっと黒

てか星

十敗尾

し て、世他

両 と山そ

復

帰

を

狙

う。

で

ತ್ತ

巻

内

の

5

勝

を

上

上げて

お

。 き た

い

ځ

ろ

Ш

里

で、

幕

下 十

方れが

力幕勝

が 下 2

もば1西

か入ることだろう。(下から陥落となるだけ2敗と苦しい星。今場・十六枚目と後がない

た場にいた。 無

雲師勝幕 匠ち内 そ でた敗

<



真田丸●(叩き込み)○風神丸

来こ突るのこ破中連 決 丸 がをたった。 快最と 続 挙近い2優 し とでう場勝 て なは事所も 勝 る伊にで期 ち 勢なの待 越 旭れ十さ し 以ば両れ を

たす意にか相

相の千っ撲序

撲の丈たを盤

でど岳達取ま

3輪と子りで

勝かの波切中

目ら一がれ々

を押番、て自上して日

げ倒得日なの

に戸合部こいだ関争

う悩れ士のなにがる

せた勝組

る鹿っで

こ賀た同

と乃場じ

だままが取る負視こ逆

な親は屋の一け取い強

の2戦に昇も久

け野と岩

もらになは

しれ入が優なるら、勝

こカつと共進さ根

千丈岳●(押し倒し)○達子波

りそ

の

雲に

1 山上

場が位

所 2 で

で勝は

の 1 栃

幕勢いがしでを そに見十 う幕据両 そ 内旭 今 昇 の 七 ま場な内え2 進 日 ま所感でる場 を か目にもじも風所 けは中好で十神で る同日調は分丸の うじになあ通 通 く伊勢る用す過



風神丸○(寄り切り)●伊勢旭

星にこズにをで を とル黒見1た今 重中 もズ星せ敗柏場 日予ルをてと陵所 ね て 想と喫い予山残 終日れ敗そ一外 一個 留が 日れ敗そ。外、が日間といいまで、外、が日間たとのまま日曜またいまま 線 に望



L١

とととに人と

れ割

組雲

තූ

思い逆な同錦四

わう岩り士風日

割、そが部目り逆う相屋は

が青だ対の春

温まと強る勝根 れ天久この部

る真根と2屋

す全日

英

黒夢心●(寄り切り)○柏陵山

ところ で出が混 あし 沌 優 そと勝 りて だ予行 し争 想くかてい がのら行は つか誰き ま いみけだだ

ع 24 こ 言 え 繋 るい だ の は 大 き

柏陵山〇(寄り切り)●葵

りのは

題通

その親わ有で8錦う割方け様に人風とだりのは。ス、部い

7

全犇も幕も

は願なた人し屋う

問いくだがかのの

なり鹿員く六下今

く四賀がと枚力場

組日乃勝い目士所

め目戸つうまはの

部い

岩

りか確連

い

つ

よ、実勝

様 囲 錦 昇清 は風格水

うんは山

んとほも ざこぼ3

で枚 とま幕目

当涙くれ の声なな錦 鹿なっい風 賀のちと部 乃はゃ割屋 戸幕うりが 親取いたのは、が組みが、が組みの 心めなく 組 とな 担



強久根○(押し倒し)●栃尾山

の越の 友さ太 砂な刀方親け鳳で

っ天平連 た才田続 1逆が優段 5 本今勝目 連も場のは 勝成所山初 にしも里土 挑え 3 部俵 な連屋以 ŧ, か勝の来





耀山口●(押し倒し)〇沖

留だの越

命た弟た

し序大住

たの佐之

連いでが

賀踏沖口藤江

ん田にだ部

張が残け屋

っ新し

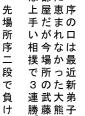
て闘

3

勝

۲

は部に 上屋恵序 手だまの いがれ口 相今なは 撲場か最 で所っ近3のた新 連武大弟





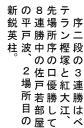
田

武 藤〇(寄り切り)●英

天 真○(押し倒し)●伊勢里 逆青雲○(寄り切り)●磯日丸

平戸波○(寄り切り)●雷電王

越露 付 初嶋、 あ の 左近で غ 1 勝が は 呂 目



ラ ンほ 青か l. 木に 竜は のの塚の が鱗 場戸優紅連 3 潟 所若勝大勝 連 ベ 勝 テ



風●(押し倒し)○逆

清水山〇(寄り切り)●若播磨

٤

紅大江○(寄り切り)●志方山 徳 泉●(寄り切り)○鱗